

2016年1月13日(水)15:00～17:00

一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム

平成28年新春座談会

東海大学校友会館 望星の間

今後の医療を占う—診療報酬改定を目前にして—

「慢性期医療の視点から」

一般社団法人日本慢性期医療協会 会長
医療法人平成博愛会 博愛記念病院 理事長

武久 洋三

慢性期医療の範囲

- 一般慢性期病床
- 地域包括ケア病棟
- 回復期リハビリ病棟
- 医療療養病床
(在宅復帰機能強化型、重度長期慢性期病床)
- 障害者等入院基本料算定病棟
- 特殊疾患病棟
- 介護療養型医療施設
- 介護老人保健施設、介護老人福祉施設に於ける医療
- SNW、SNR、在宅及び居住系施設に於ける医療

1. 医療の提供状況の推移

<グラフ資料>

平成22年度 厚生労働省調査

平成27年度 日慢協調査

	一般慢性期 (13 : 1+15 : 1)		医療療養病棟 (20 : 1)		医療療養病棟 (25 : 1)		介護療養病棟 (30 : 1)		介護老人保健 施設(療養型)		介護老人保健 施設(従来型)		介護老人福祉 施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
総数	11,873人	333人	14,472人	11,147人	13,521人	1,833人	16,603人	5,067人	436人	257人	24,013人	2,030人	19,785人	1,426人
中心静脈栄養	9.8%	6.9%	8.8%	10.8%	5.3%	8.4%	0.9%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
人工呼吸器	1.6%	2.1%	2.2%	2.6%	0.5%	0.8%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
気管切開・ 気管内挿入	4.5%	5.2%	15.9%	17.8%	7.2%	6.7%	1.7%	1.4%	3.5%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
酸素療法	14.0%	10.8%	19.7%	21.3%	11.4%	11.4%	2.9%	4.1%	2.3%	0.4%	0.5%	0.5%	0.8%	0.6%
喀痰吸引	20.6%	30.0%	40.2%	47.2%	25.6%	29.0%	18.3%	29.6%	14.9%	5.4%	2.4%	1.8%	4.4%	1.6%
経鼻経管・胃ろう	16.0%	39.8%	35.7%	56.1%	29.9%	41.7%	36.8%	46.2%	35.1%	5.1%	7.3%	6.9%	10.7%	7.0%

平成22年度 厚生労働省調査 ; 平成22年6月実施 厚生労働省「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」速報値より
 平成27年度 日慢協調査 ; 平成27年5月実施 日本慢性期医療協会 医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査

新入院患者の検査値の異常値割合

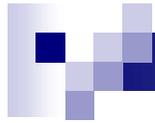
平成22年1月から平成27年3月に、当院を含む計16病院に入院した患者 26,212名の、入院時検査における検査値の異常値割合

	患者数(人)	割合(%)	一番悪い値
BUN 20.1以上	10,384	39.62%	225.9
Na 136未満	7,708	29.41%	109
Na 146.1以上	700	2.67%	186.5
ALB 3.8未満	15,803	60.29%	1.4
TCHO 130未満	4,522	17.25%	21
GLU 111以上	15,812	60.32%	1122
Hb	14,183	54.11%	2.3
再掲 (男性)12.0未満	6,398	57.0%	2.3
再掲 (女性)11.3未満	7,785	51.95%	3.1

高度急性期及び急性期病院からの褥瘡持ち込み状況調査【対象】3病院

平成22年1月～平成27年3月における高度急性期および急性期病院から入院した3607名のうち、前院での入院期間が判明した患者3507名について調査

		入院期間	患者数	
前院での入院期間 (前院での入院期間平均 45.11日)		30日以下	1775名	
		31日以上60日以下	1077名	
		61日以上90日以下	322名	
		91日以上180日以下	258名	
		181日以上	75名	
		合計	3507名	
			患者数	割合
持ち込み褥瘡あり患者数			335名	9.6%
前院での入院期間		30日以下	140名	7.9%
		31日以上60日以下	98名	9.1%
		61日以上90日以下	47名	14.6%
		91日以上180日以下	35名	13.6%
		181日以上	15名	20.0%
HDS-R評価患者数 (入院期間不明患者を含む)		2164名	平均	15.70
HDS-R評価患者数 (入院期間不明患者のみ)		2117名	平均	15.68
MMSE評価患者数 (入院期間不明患者を含む)		755名	平均	14.83
MMSE評価患者数 (入院期間不明患者のみ)		749名	平均	14.83



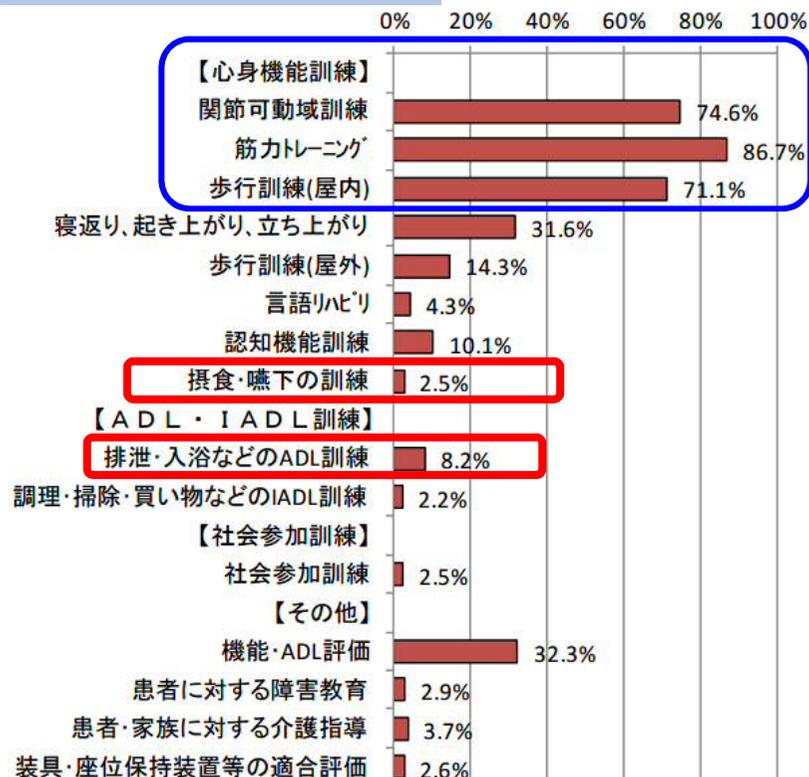
急性期病院での入院期間が短いうちに、
リハビリ病院に紹介された患者は、
脳血管障害・運動器・廃用のリハビリに
おいていずれも短期間で回復している。

リハビリテーションにおける医療と介護の連携に関する調査

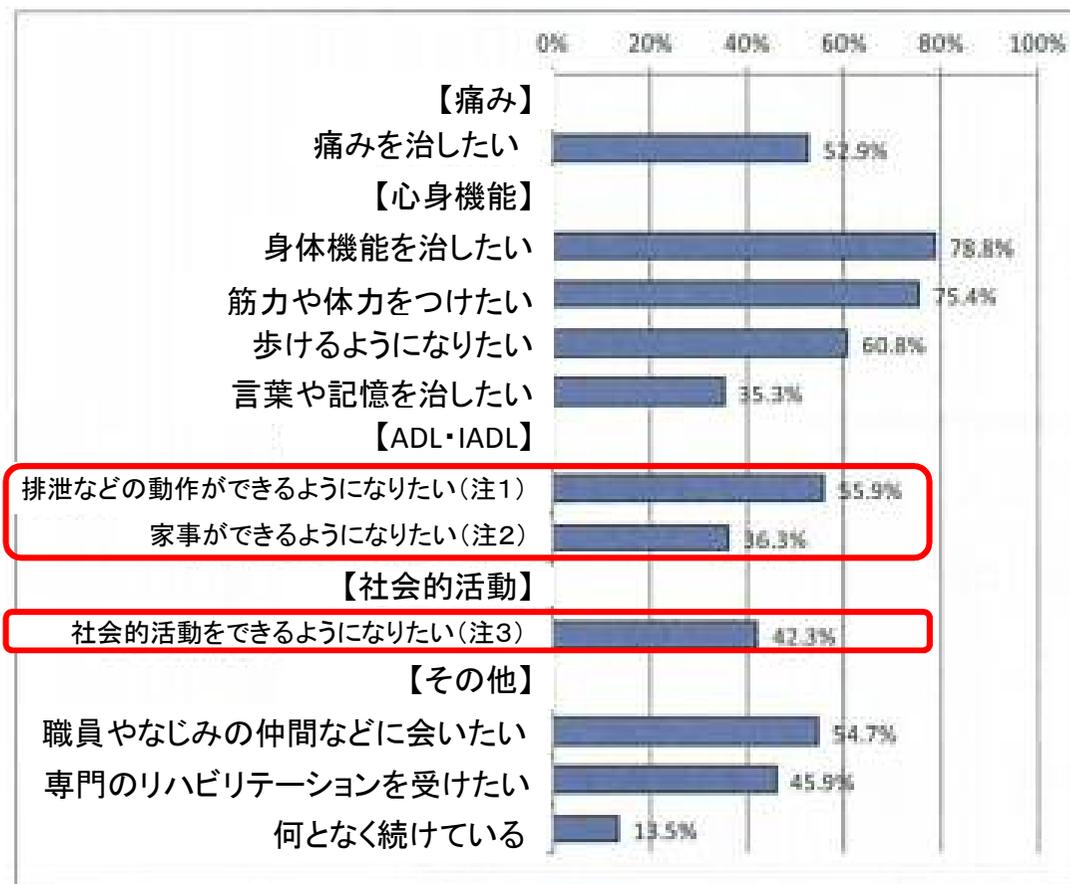
リハビリの実施内容(複数回答)

リハビリ継続理由:本人回答(複数回答)

図表17 通所リハ
(n=3,415)



図表45 通所リハ
(n=2,786)



注1) 選択肢全文は「日常生活を送る上での基本的な動作(移動や食事、排泄、入浴、着替えなど)ができるようになりたい」

注2) 「買い物や掃除、料理など家事ができるようになりたい」

注3) 「病気やけがになる前に行っていた趣味活動や仕事をするなどの社会的活動ができるようになりたい」



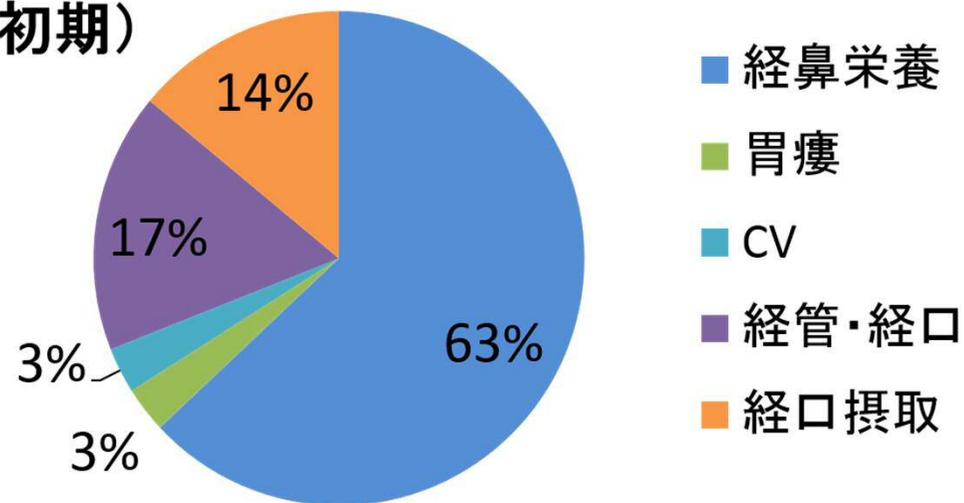
先ず第一に取り掛かるべきは、
嚙下障害と膀胱直腸障害に
対するリハビリではないか。
どうして自立歩行を至上目的に
するのが問われている。

積極的な摂食嚥下訓練の効果検証

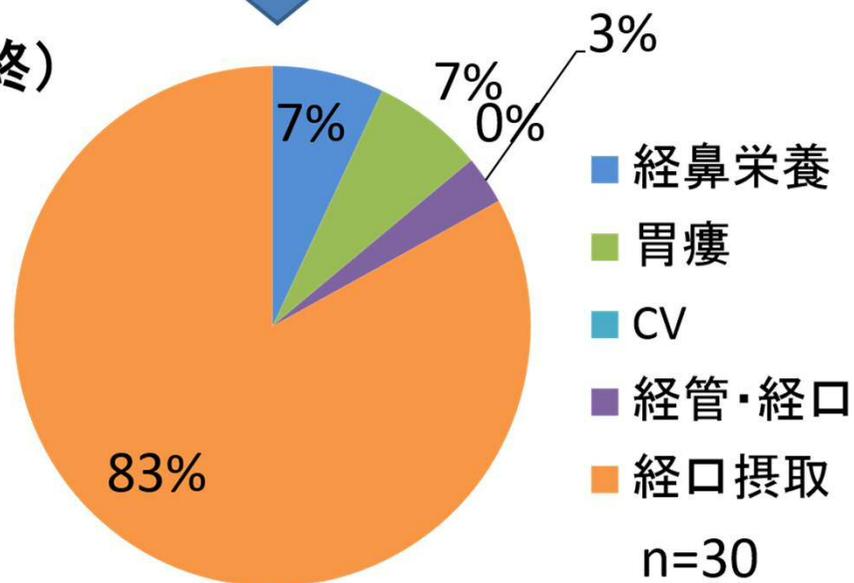
ST(摂食嚥下)訓練 多単位介入	
実施対象病院	4病院
患者数	30名 (男性19名・女性11名)
年齢	78.1±11.2 歳
主疾患	中枢神経疾患:27名 その他:3名
平均ST実施単位 (1日当たり)	5.6単位

栄養摂取手段の変化

(初期)



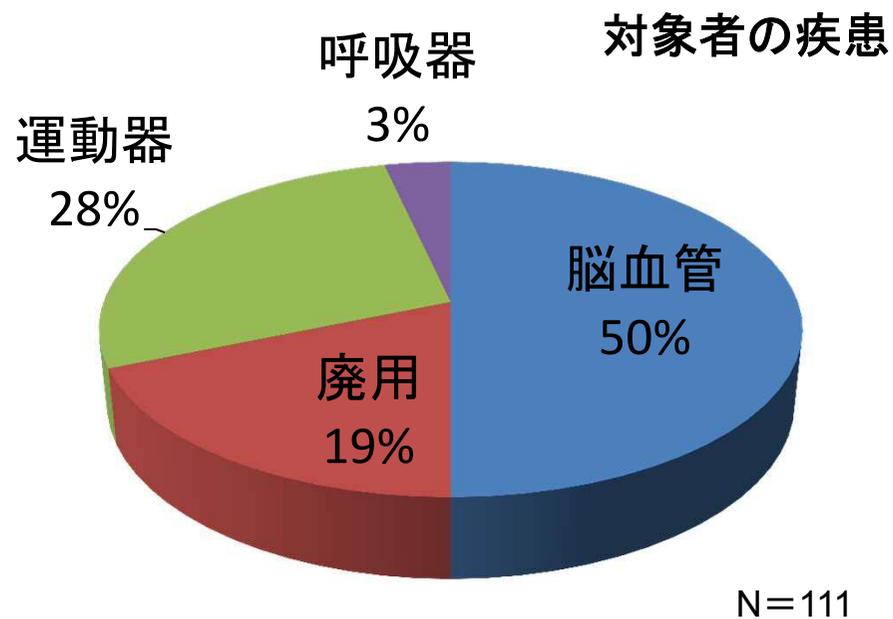
(最終)



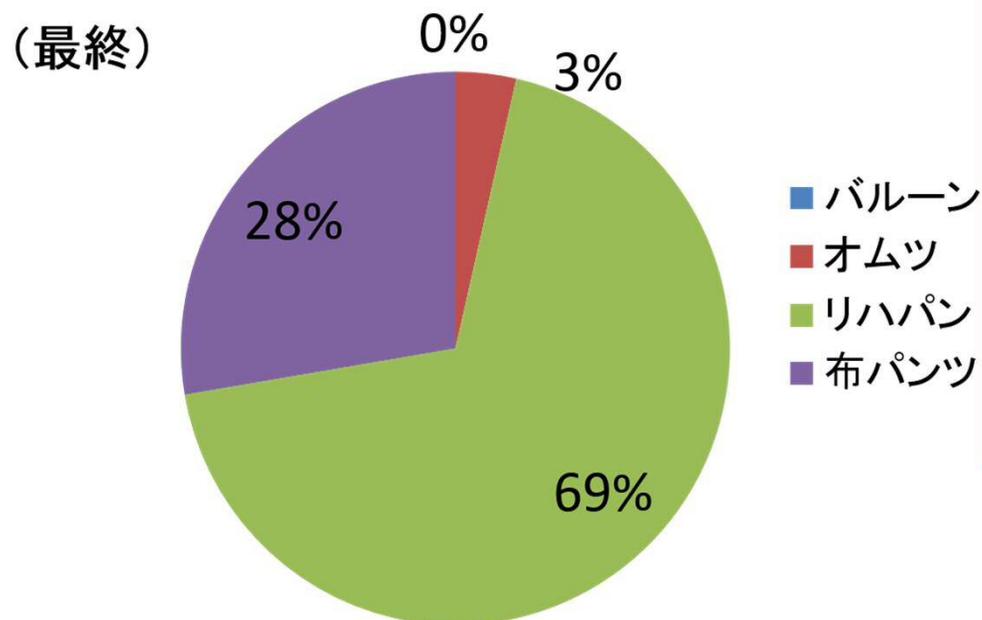
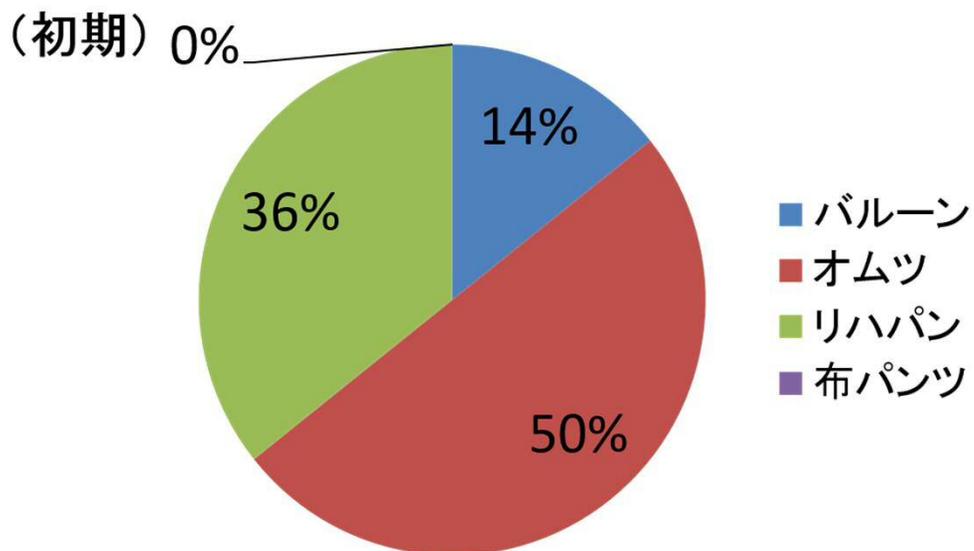
n=30

膀胱・直腸障害リハの効果検討

実施施設数	22施設
対象患者数	111名
平均年齢	80.5±9.8 歳
平均個別リハ実施数	5.1単位/日



着用している下衣(パンツ)の変化



- 初期にバルーンやオムツだった患者さんが、リハパンや布パンツに移行できている。
- 入院時にバルーンとオムツで64%を占めていたが、退院時にオムツを着用している者は3%までに減少している。



地域医療構想策定ガイドラインで
示された病床削減は、病床がなくなる
のではなく、病床が施設のベッドに
変わるだけですよ。

病院分類

```
graph LR; A[病院分類] --- B[急性期病院 (AH) (高度急性期)]; A --- C[多機能病院 (MFH)]; A --- D[専門病院 (SH)];
```

急性期病院 (AH)
(高度急性期)

多機能病院
(MFH)

専門病院 (SH)

病棟機能分類

5:1 (HCU,ICU)

7:1

10:1

地域包括(10:1~13:1)

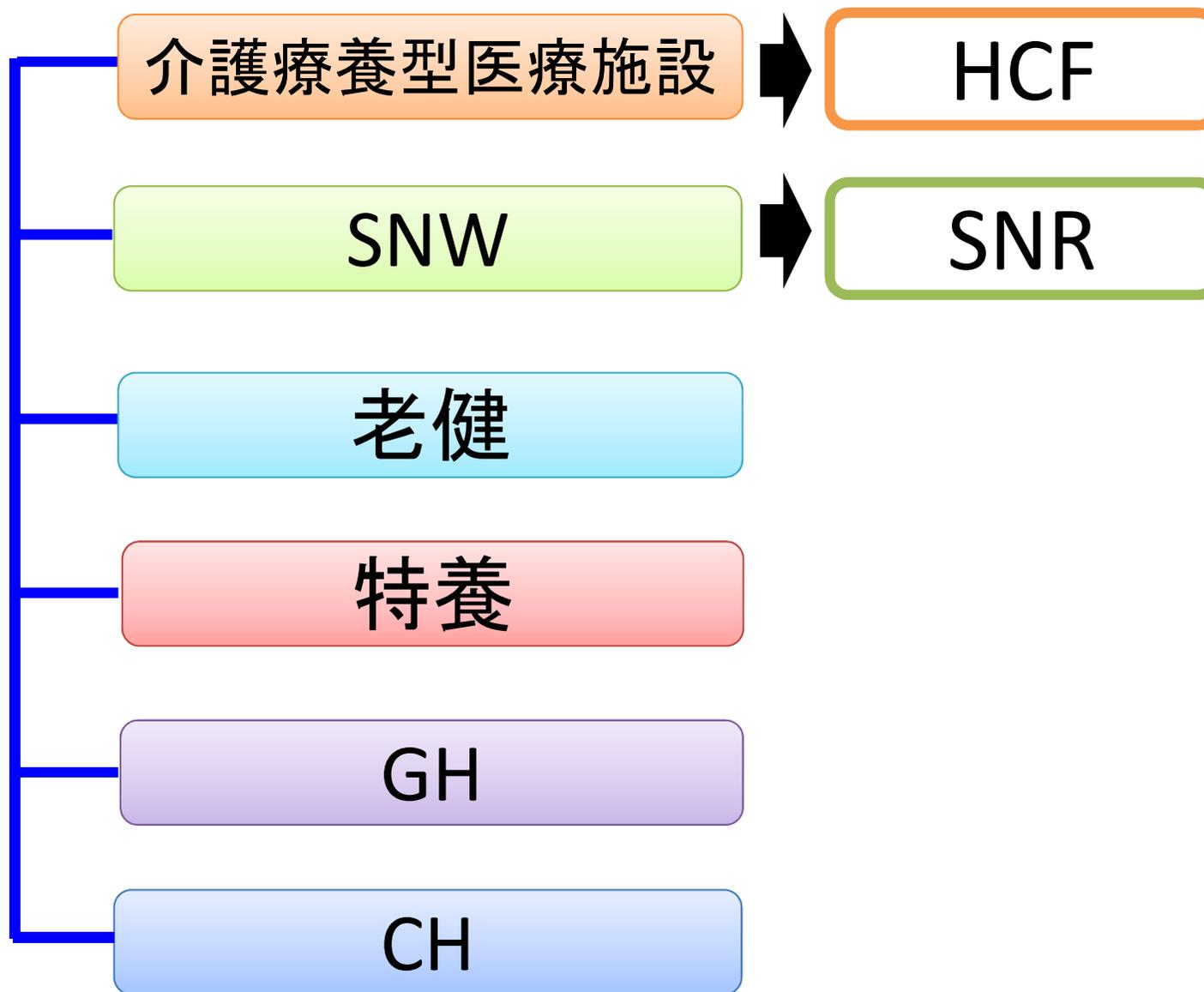
回復期リハ(13:1)

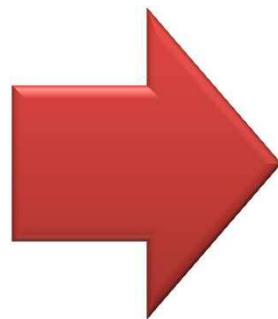
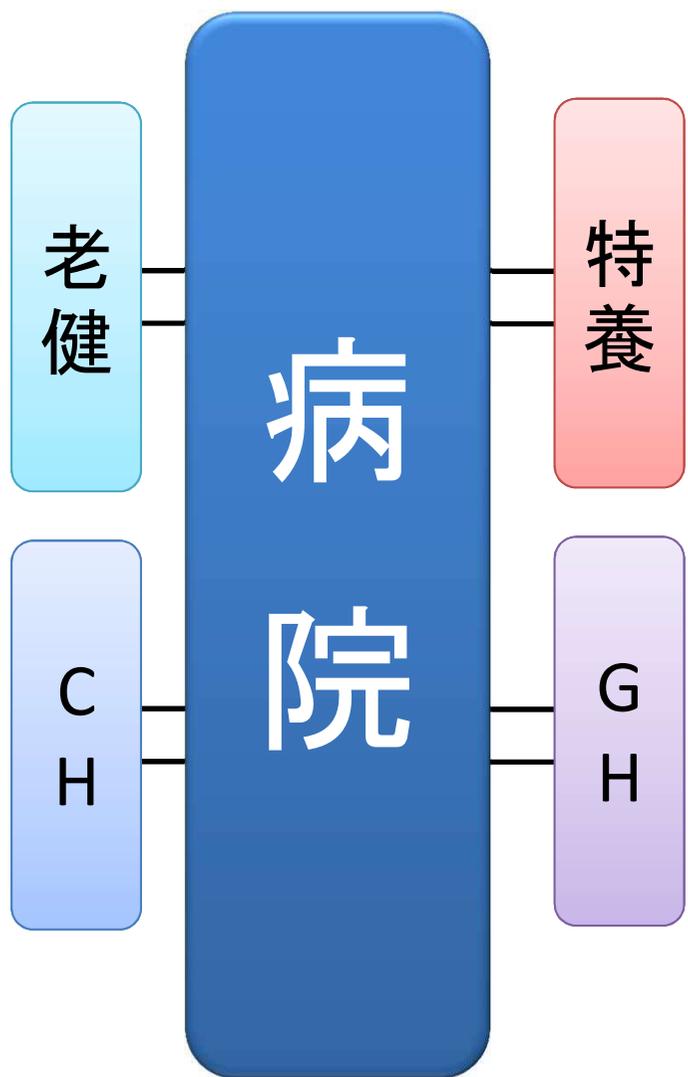
15:1

20:1

25:1

病院内施設として認めてもよい機能







良質な慢性期医療がなければ
日本の医療は成り立たない